

SIFA ニュース



NO. 96

2018 年度 春号

(公財) 鈴鹿国際交流協会

内 容

[案内]

- わいわい春まつり
- 日本語ボランティア養成講座
- ペルフォンテン相互交流事業
- 知っとる？身近な国際活動

[報告]

- 平成30年度事業計画
- ホストファミリー交流会
- 多文化共生の地域づくり講座

国際交流フェスタ2018 わいわい春まつり



開催日時：4月22日(日) 10:00~15:30

場所：鈴鹿ハンター・弁天山公園

今年もわいわい春まつりの季節になりました！いろいろな国の音楽あり、ダンスあり、民族衣装の試着体験ありと一日中楽しむことができます。今年もステージは、MCが自国の言葉・リズムでステージ展開します。最後には、ビンゴを行います。鈴鹿サーキットのペアパスポートの他、市内外国料理店のお食事券等豪華賞品を用意しています。

そしておなじみの国際屋台村では、12か国のブースが出店し、色々な国の料理や雑貨を楽しめます。様々な味をご堪能ください。

弁天山公園では、ゲルを立て内モンゴルの文化の紹介をします。また、約40ブースのWara マルシェでは、子どもと一緒にいろいろな手作り体験が楽しめます。

内容盛り沢山のわいわい春まつりに是非遊びに来て下さい！



日本語ボランティア養成講座

日本語を教えることを通して在住外国人と交流しませんか。日本語を教えたことがなくても、外国語が話せなくても大丈夫です。教室では、日本語で日本語を教えます。学習者の国について話すのは楽しいですよ。

と き：5月19日(土)~6月16日(土) 毎週土曜日 13:30~16:40 (6月16日は17:00まで)

と ころ：鈴鹿市男女共同参画センター 研修室1AB

対 象：出来る限り全講座に出席できる方

講 師：舟橋先生、棧敷先生(鈴鹿大学)

受 講 料：一般6,000円 賛助会員3,000円

(会員には、いつでも加入できます。)

募集人数：20名(応募者多数の場合は抽選)

応募方法：5月7日(月)(当日必着)までに、郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入の上はがき、E-mailでSIFAまで

協 力：鈴鹿日本語会 AIUEO、桜島日本語教室、牧田いろは教室



H29年度の講座の様子

友好都市ベルフォンテンから ともだちがやって来る！！ ホストファミリー募集！！

SIFAの恒例事業である鈴鹿市・ベルフォンテン市青少年相互交流事業は、今年は受け入れの年！

そして今年度は、友好協定締結以前に、その前身として鈴鹿市の中学生が初めてベルフォンテン市を訪問した年から数えて30年目の節目の年でもあります。

これを記念し、今年は、“First visit 30th anniversary”と銘打ち、宝くじのコミュニティ助成事業※として実施致します。これにより、ホストの子ども達もベルフォンテンの派遣生達と一緒に、市内視察やスタディツアーに参加出来ることになりました。

アメリカの子ども達と丸5日間一緒に過ごすことで、英語でコミュニケーションをとりながら、色々な体験を一緒にし、互いの文化に触れあいます。

濃密で充実した5日間になること間違いなし！！

あなたもホストファミリーになって、ベルフォンテンの仲間の家族になりませんか？



受入れ期間：7月25日(水) 夕方～7月30日(月) 朝まで
 募集家庭：12家族（うち3家族は引率者の受入れとなります。）
 訪問団内訳：男子生徒3名、女子生徒6名、
 引率者(女性)1名、(男性)2名
 ホストファミリー説明会：6月23日(土) 13:30～
 鈴鹿市役所 別館第3 2階北会議室にて
 申し込み：6月17日(日)までに、FAX又はEmailにて
 住所・氏名・電話番号・家族構成を記入の上
 SIFAまで。
 ※年齢・性別等家族構成を見て、マッチングします。

訪問団スケジュール(予定)

7/25 鈴鹿到着⇒ホストファミリー

7/26 市長表敬訪問
 リサイクルセンター見学
 昼食
 中学校訪問・交流
 環境フォーラム
 消防署見学
 夕食
 着物&束帯体験他

7/27 AM 鈴鹿サーキット
 PM 伊賀忍者博物館

7/28 終日ホームステイ

7/29 お昼 フェアウェルパーティ

7/30 鈴鹿出立⇒帰国の途へ

※宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施



知つとる？身近な国際活動

と き：5月12日(土) 10:00～20:00

ところ：イオンモール鈴鹿 北コート

内 容：三重県主催の事業で県内の国際交流に取り組む団体の活動紹介をします。

※SIFAもベルフォンテン市との交流についてのブースを15:00まで出しますので、ぜひお立ち寄りください。

★平成 30 年度 SIFA の事業計画★

① 地域レベルでの国際交流の促進・国際理解事業

・鈴鹿市・ベルフォンテン市相互交流事業

鈴鹿市の友好都市である米国オハイオ州ベルフォンテン市から中高生を受け入れ、市内学校での生徒同士の交流や、ホームステイによる市民交流を行い、両市の友好親善を図ります。

・国際理解講座

食べ物や異文化理解、国際情勢などといったテーマから体験型の講座を実施します。

② 多文化共生推進事業

・共生社会推進イベント(わいわい春まつり)

日本人と外国人で実行委員会を組織し、「協働」と「異文化体験」をキーワードに、来場者が一日家族で楽しみながら国際交流ができるフェスティバルを目指します。また、募金活動などを通じて、学生ボランティアの活躍の場を設けます。

・協会ホームページ

ホームページに協会が実施する事業の他、災害時の避難所や日本語教室等の情報を掲載し、また Facebook ページでは、鈴鹿市及び近隣市町の国際交流に関する色々な情報を掲載します。

・SIFA ニュース

協会役員、賛助会員及びボランティア会員向けに、協会や各会員が行う各種事業の活動状況等を広報します。

・日本語講座

市内在住外国人のニーズに応え、日本語の初級講座を開催します。

・在住外国人向け広報誌(マンスリーすずか)の発行

やさしい日本語、ポルトガル語及びスペイン語版の広報誌を発行します。QR コードにより地図を見たり、より多くの情報にアクセスできたり等、より効果的な情報提供に努めます。

・在住外国人向け起業セミナー

スモールビジネスを展開している又は検討している在住外国人を対象に起業支援セミナーを開催します。

・母語や母国文化の学習支援の検討

外国人の母語環境の現状の把握と母語学習の必要性を探り、当事者や関係者の意識の共有化を図るための調査・検討を行います。

・相談窓口の強化 (日本語の行政文書等の説明)

市、学校、税務署、電話会社、電力会社等から送付される日本語の通知文書等について、内容が分からない外国人市民のため、事務所窓口やメールで、文書の内容をやさしい日本語で説明することを広報し、相談窓口機能を強化します。

③ 人材の育成及び市民活動等の支援事業

・日本語学習支援ボランティアの育成

日本語学習をする外国人住民の学習内容の充実を図るため、鈴鹿大学や日本語教室と連携して実施します。

・外国人児童・生徒向け学習支援者の育成

公立小中学校や地域の学習支援教室等で学習する児童生徒への学習支援を目的としたボランティア養成講座を教育支援課・市内公立学校関係機関と連携して開催します。

・協会登録ボランティアとの連携強化

協会に登録する市民ボランティアとの連携、協働を進めるため、登録事業ごとの交流会を開催し、情報交換・意見交換を通じて、協会との連携強化やボランティア間の横のつながりを深めます。

また、関係団体・企業や外国人市民等からの翻訳依頼について、積極的に登録ボランティアを活用します。

・他団体等との連携

社会福祉協議会が実施する多文化共生推進活動「鈴とも」への参加や、他の国際協力機関・団体との事業協働などを行います。

ホストファミリー ボランティア登録会&交流会開催

2月17日(土)に、第一弾のホストファミリーボランティア登録会を行いました。

これは、ベルフォンテンに特化せず、鈴鹿高専や海星高校、JICEなど、SIFAがよく依頼を受ける団体からの要請にも対応できるように、通常時のボランティア登録会を行いました。

新しい参加者は11名。すでに登録されていてホストファミリーの経験のある方5名にも来て頂き、体験談を皆でシェアしました。



短期の受け入れの方、長期で受け入れられた方、それぞれの受け入れスタイルや考え方の違いなども面白く、みなさん、色々思いを巡らせて温かい受け入れを下さっていることがよくわかり感激しました。

受け入れ経験のない方の不安がなくなるように、おひとりおひとり、とても親切丁寧に説明やアドバイスをして頂き、とても有難かったです。

みなさんのご意見はとても参考になり、新しい参加者の方も多くが登録を下さいました。

また、実際に3名の留学生の受け入れ依頼がきていたのですが、たくさんの方が前向きに考えて下さって、受け入れ先も決まりました。みなさん、ありがとうございました。

先輩ボランティアさんのお話

- ・カナダ人(1.5ヵ月)やフィンランド人(7ヵ月)など長期で受け入れた。とりたてて特別なことはせず、ありのまま普段の生活をし、叱る時は叱って本当のお母さんのように過ごした。色々な国の人を受け入れているので、子ども達もそういう状況に慣れて、知らないうちに英単語を覚えたりして驚いた。
- ・運転が苦手なので一緒に電車で花火大会に行った。当時息子は英語が出来なくてもコミュニケーションは出来ていた。後に、息子はお金を貯めてアメリカへ行った。特別な所に行かずとも、娘の学校の部活を見たりした。気負わなくても大丈夫。昔からホストをして良かった。
- ・虫取りやスイカ割りをしたり、ラジオ体操に行ったり、そろばんを教えたり、書道で名前を漢字で書いたりした。ホストを通じて後に色々な人達と繋がりが持てた。近所の子どもも交え、子ども同士の遊び時間を作った。
- ・納豆が好きになり、お土産に持って帰りがた。奈良漬けを持たせた。ラーメンを一番喜んで食べていた。
- ・子どもは日本語、相手は英語なのにちゃんと会話が成立していた。とんかつ、カレー、手巻き寿司、流しそうめんをした。

国際理解講座 多文化共生の地域づくり



1月21日(日) 牧田コミュニティセンターにて牧田地区地域づくり協議会と合同で国際理解講座を開催しました。

第1部は、伊賀で活動しているフォルクローレグループ Watay による演奏をお聞きいただきました。「コンドルは飛んでいく」に代表されるアンデスの素敵な音色は参加していただいたみなさんに大好評でした。

第2部では、伊賀の伝丸代表理事の和田京子さんから伊賀で地域と共に取り組んできた多文化共生活動について教えていただきました。

多文化共生の委員会を作り、外国人家庭を一軒一軒回ったり、一緒に体験できるイベントを何度も開催したりして顔の見える関係を作っていくことがキーポイントになるとの事でした。そのためにも、やさしい日本語を地域で学び、日々の生活に活かしていくことが重要になってくるようです。

これから、地域で多文化共生を進めていくコツをたくさん学ぶ機会になりました。



公益財団法人鈴鹿国際交流協会 (SIFA)

〒513-0801 鈴鹿市神戸 1-17-5 別館第3 TEL : 059-383-0724 FAX : 059-383-0639

✉ sifa@mecha.ne.jp URL : <http://www.sifa.suzuka.mie.jp>